

2026年1月20日
国立大学法人大阪大学
日産自動車株式会社

大阪大学接合科学研究所-日産自動車『日産自動車 溶接・接合共同研究部門』開設式のご案内

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、大阪大学接合科学研究所と日産自動車は2月3日（火）に『日産自動車 溶接・接合共同研究部門』開設式を開催いたします。

当日は、大阪大学 熊ノ郷淳総長および日産自動車執行役の平田禎治チーフモノづくりオフィサーからの挨拶、ならびに共同研究部門の設置趣旨についてご説明いたします。その後、引き続き開設記念講演会を開催し、大阪大学接合科学研究所所長より「阪大接合科学研究所発の接合、AM（3D プリンティング）技術の紹介」、日産自動車研究代表者より「共同研究部門による自動車モノづくりの進化」について講演いたします。

また、開設式に先立ち、共同研究に取り組む大阪大学接合科学研究所発の新技术「摩擦攪拌積層造形（Additive Friction Stir Deposition、以下 AFSD という。）」について、メディアの皆さまにご覧いただく見学会を実施いたします。最先端の設備や技術を実際にご覧いただける貴重な機会になります。

今後の共同研究や産業界への展開についてもご理解を深めていただければ幸いです。皆さまのご出席を心よりお待ちしております。

【見学会】

日時：2026年2月3日（火）11:00～12:00

場所：大阪大学 吹田キャンパス 接合科学研究所 大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1

（見学会終了後には、参加者の皆さまに軽食をご用意いたします）

【開設式】

日時：2026年2月3日（火）13:00～14:30（12:00 受付開始）

場所：大阪大学・吹田キャンパス 银杏会館 大阪府吹田市山田丘 2-2

式次第

【第1部】開設記念式典（13:00～13:40）

- | | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 1. 大阪大学代表者挨拶 | 大阪大学総長 熊ノ郷 淳 |
| 2. 日産自動車株式会社代表者挨拶 | 日産自動車株式会社 執行役
チーフ モノづくり オフィサー 平田禎治 |
| 3. 文部科学省来賓ご挨拶 | 文部科学省 科学技術・学術政策局
産業連携・地域振興課長 国分政秀様 |
| 4. 共同研究部門設置趣旨説明 | 日産自動車株式会社 執行職
車両生産技術開発本部 本部長 鈴木俊二 |
| 5. 写真撮影 | |
| 6. 記者質疑応答 | |

【第2部】開所記念講演会（13:50～14:30）

1. 阪大接合科学研究所発の接合、AM（3Dプリンティング）技術の紹介

大阪大学接合科学研究所長 教授 藤井英俊

2. 共同研究部門による自動車モノづくりの進化

日産自動車 溶接・接合共同研究部門 研究代表者 樽井大志

■日産自動車 溶接・接合共同研究部門における研究について

今回開設する溶接・接合研究部門では、大阪大学接合科学研究所発の「AFSD」および「高輝度 X 線透過型溶接接合機構 4 次元可視化システム」を活用した研究開発によって新型車開発期間の大幅短縮を目指します。

AFSD は、材料が固形の状態でも、摩擦による熱を活用することで形を作ることができる技術です。このとき、材料のまわりにリングをつけることで、バリや内部の微小な空洞を生じさせずに、きれいな積み重ねができる点の特徴です。従来の 3D プリンティングよりもずっと速く、安定した良い品質のものができるため、電動車用パワートレイン向けに実用化することを目指し、共同研究により実験・検証を重ねる予定です。

また、この研究部門では、大阪大学接合科学研究所が開発した『高輝度 X 線透過型溶接接合機構』（3次元の空間を表示し、時間軸も合わせて 4 次元で見える高輝度の X 線を使った溶接の可視化装置）も使っていきます。これにより、様々な接合方法の利点や使い方を論理的に評価していきます。接合の様子を見えるようにし、大阪大学接合科学研究所の高度な専門知見を生かすことで、未来の自動車に使われる接合が難しい材料の接合方法について、仕組みを解き明かすスピードを加速させます。

自動車産業は、電動化を中心とした技術革新の加速により、かつてない構造転換の時期を迎えています。市場では商品性能の一層の高度化が求められ、扱う材料は多種多様かつ複雑化しており、必要とされる技術の難易度も高まっています。同時に、国際的なコスト競争が激化しているため、新型車開発期間の短縮は業界全体にとって喫緊の課題となっているため、本研究部門を開設します。